

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2003-531790(P2003-531790A)
 【公表日】平成15年10月28日(2003.10.28)
 【出願番号】特願2001-580465(P2001-580465)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 20/14 (2006.01)

D 0 1 D 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 20/14

D 0 1 D 7/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成19年7月19日(2007.7.19)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0021
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0021】

図2は、図1の線II-IIで切断したエアジェット・コンベヤーの横断端面図である。図に示すように、エアジェット・コンベヤーは、搬送トラックの両側の1つずつの2つの細長い支持材片8から形成される。エアナイフ6は、支持材片8中に設けられた切り欠き部分13内に適合する。切り欠き部分13は、種々の間隙を有するようにエアナイフを調節できる。エアナイフ6間の間隙は、コンベヤー全体に渡って一定であってもよいし、搬送トラックの種々の部分で特有の搬送ニーズに合わせて変化させることもできる。切り欠き部分13内のエアナイフ6と支持材片8との間にリングシールを設けることもできる。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0029
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0029】

図7は、図6の線VII、VIII-VII、VIIIで切断したエアジェット・コンベヤーの横断端面図である。図8は、図6の線VII、VIII-VII、VIIIで切断した環状流路14の横断面図であり、傾斜スリット5の切断を示す。第1の好ましい実施態様において、方向性スリットはエアナイフによって形成される。第2の好ましい実施態様においては、方向性スリットは、環状流路14をブレード16によって一部分切り込むことによって形成される。切り込みは望ましい角度でなされ、図8は切断の深さを示している。方向性スリットをエアプレナム4に開けるように、環状流路14中に十分に深く切り込みが行われなければならない。しかし、環状流路14の側面から空気が出ないように切り込みは十分に浅くなければならない。このためには、切断に使用されるブレード16の直径は、環状流路14の幅を大幅に超えることはできない。

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】図面の簡単な説明
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の好ましい実施態様に係るエアジェット・コンベヤーの側面図である。

【図 2】

図 1 の線 II-II で切断したエアジェット・コンベヤーの横断端面図である。

【図 3】

図 1 に示されたエアジェット・コンベヤーに使用されたエアナイフの平面図である。

【図 4】

図 3 に示されたエアナイフの側面図である。

【図 5】

図 3 及び 4 に示された複数のエアナイフの側面図である。

【図 6】

本発明の第 2 の好ましい実施態様に係るエアジェット・コンベヤーの斜視図である。

【図 7】

図 6 の線 VII、VIII-VII、VIII で切断したエアジェット・コンベヤーの横断端面図である。

【図 8】

図 6 の線 VII、VIII-VII、VIII で切断した環状流路の横断面図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

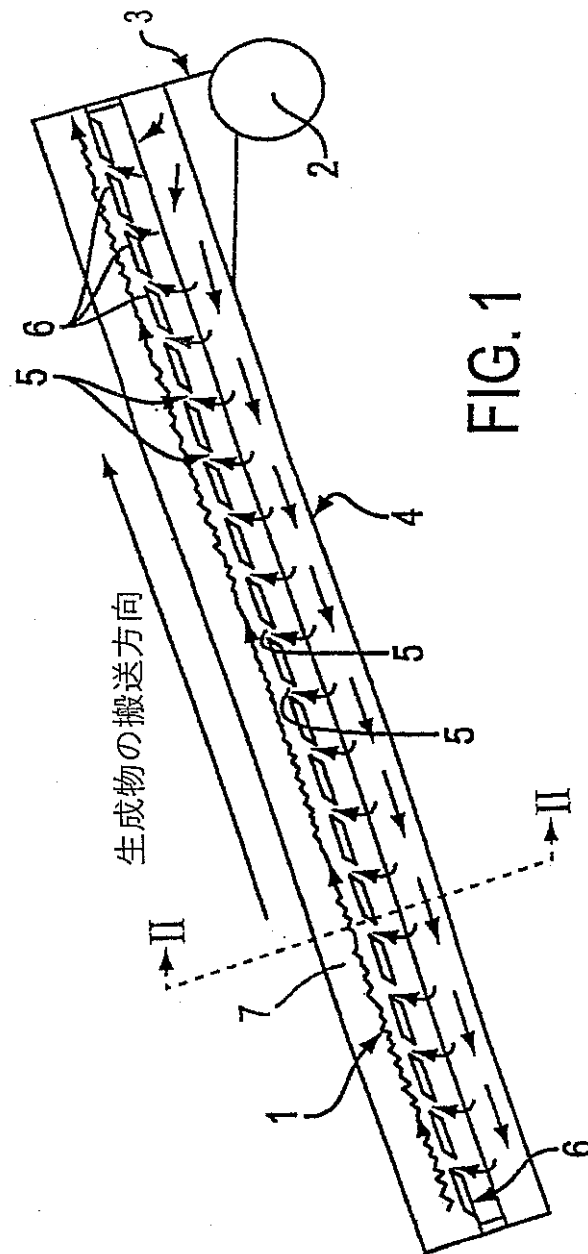


FIG. 1

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【图 6】

